

平成29年第1回

おいらせ町議会定例会

会議録第1号

おいらせ町議会 平成29年第1回定例会記録

おいらせ町議会 平成29年第1回定例会記録				
招集年月日	平成29年3月2日(木)			
招集の場所	おいらせ町役場本庁舎議場			
開 会	平成29年3月2日 午前10時00分 議長宣告			
散 会	平成29年3月2日 午前11時34分 議長宣告			
応 招 議 員	議席番号	氏 名	議席番号	氏 名
	1 番	澤 上 勝	2 番	澤 上 訓
	3 番	木 村 忠 一	4 番	高 坂 隆 雄
	5 番	田 中 正 一	6 番	平 野 敏 彦
	7 番	檜 山 忠	8 番	川 口 弘 治
	9 番	吉 村 敏 文	10 番	澤 頭 好 孝
	11 番	西 館 芳 信	12 番	西 館 秀 雄
	13 番	佐々木 光 雄	14 番	松 林 義 光
	15 番	沼 端 務	16 番	馬 場 正 治
不 応 招 議 員	な し			
出 席 議 員	15名			
欠 席 議 員	13番 佐々木 光 雄			
地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者の職氏名	職 名	氏 名	職 名	氏 名
	町 長	三 村 正 太 郎	総 務 課 長	小 向 道 彦
	分庁サービス課長	松 林 政 彦	企 画 財 政 課 長	成 田 光 寿
	まちづくり防災課長	田 中 貴 重	税 務 課 長	小 向 仁 生
	町 民 課 長	澤 田 常 男	環 境 保 健 課 長	松 林 由 範
	介 護 福 祉 課 長	倉 館 広 美	農 林 水 産 課 長	西 館 道 幸
	商 工 観 光 課 長	松 林 光 弘	地 域 整 備 課 長	澤 口 誠
	会 計 管 理 者	北 向 勝	病 院 事 務 長	小 向 博 明
	教 育 長	福 津 康 隆	学 務 課 長	泉 山 裕 一
	社会教育・体育課長	柏 崎 和 紀	選 挙 管 理 委 員 会 委 員 長	相 坂 一 男
	選挙管理委員会事務局長	小 向 道 彦	農 業 委 員 会 会 長	山 崎 市 松
	農業委員会事務局長	西 館 道 幸	監 査 委 員	名 古 屋 誠 一
監査委員事務局長	中 野 重 男			
本会議に職務のため出席した者の職氏名	事 務 局 長	中 野 重 男	事 務 局 次 長	小 向 正 志

	臨時職員	吉田美里		
町長提出 議案の題目	1 議案の一括上程 報告第3号～第4号			
	諮問第1号			
	議案第2号～第34号(36件)			
議員提出 議案の題目				
開議	午前10時00分			
議事日程	議長は、本日の議事日程を次のとおり報告した。(別添付)			
会議録署名 議員の指名	議長は、会議録署名議員に次の2名を指名した。			
	9番 吉村敏文 議員			
	10番 澤頭好孝 議員			
議 案 の 経 過				
日 程	発 言 者	発 言 者 の 要 旨		
開会宣告	事務局長 (中野重男君)	修礼を行いますので、ご起立願います。 礼。 着席ください。		
会議成立 開議宣告	馬場議長	おはようございます。 ただいまの出席議員数は15人です。定足数に達しておりますので、これより平成29年第1回おいらせ町議会定例会を開会いたします。 (開会時刻 午前10時00分)		

諸般の報告	(議員席)	**なしの声**
	馬場議長	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、本定例会の会期は本日3月2日から3月9日までの8日間とすることに決しました。</p>
	馬場議長	<p>日程第3、諸般の報告をいたします。</p> <p>議長としての報告事項は印刷をしてお手元に配付しております。ご了承ください。</p> <p>次に、本日までに受理いたしました陳情書等につきましては、別紙配付の請願・陳情文書表のとおりです。</p> <p>先般このことについて議会運営委員会において審査した結果、陳情第1号から陳情第2号については議員配付とすることにいたしましたので、ご了承願います。</p> <p>次に、議会運営委員会委員長の互選について報告がありましたので、お手元に配付のとおりお知らせしておきます。</p> <p>なお、本定例会の会期中は、町当局の協力を得て、広報写真の撮影をしてもらうため、担当係員が議場内を出入りすることの許可を与えておりますので、各議員にご報告しておきます。</p>
馬場議長	<p>日程第4、所信表明について。</p> <p>町長より所信表明をしたい旨の申し入れがありますので、これを許します。</p> <p>町長、演壇にてお願いします。</p>	
町長 (三村正太郎君)	<p>おはようございます。</p> <p>本日ここに平成29年第1回おいらせ町議会定例会が開会され、平成29年度当初予算案を初め各般にわたる議案についてのご審議を願うに当たり、町政運営に対する私の所信の一端を申し上げ、議員各位を初め広く町民の皆様の深いご理解とご協力を賜りたいと存じます。</p> <p>昨年は3月1日に町誕生10周年となる大きな節目を迎え、当町は次の10年に向け、新たなステージへとスタートを切りました。改めて先人たちの尽力により築き、守り育ててきた私たちの愛する郷土おいらせ町を次の世代へと引き継いでいくため、町民の融和と一体感の醸成を第一とし、豊かな自然と風土、</p>	

	<p>文化や産業を育み、さらなる発展のため全力で邁進することを誓った次第であります。</p> <p>また、自助・共助・公助の理念に基づく防災基本条例が4月1日に施行し、防災対策も新たな段階へと移り、6月には本町地区の百石道路避難階段の整備により、平成23年3月11日の東日本大震災の発生以来、重点的に取り組んでまいりました。津波避難タワーの建設を初めとする震災復興と防災体制の強化に向けた取り組みは、一区切りを迎えることができました。被災直後の沿岸地域の惨状と被災者の深刻な生活不安を思い起こすと非常に感慨深いものがあります。</p> <p>なお、今後も住民の生命と財産を守るという地方自治体としての責務を全うすべく全力を尽くすことを誓うとともに、これまでの議員各位並びに関係各位のご理解ご協力に対し、深く感謝申し上げる次第であります。</p> <p>来る平成29年度は、早いもので町長としての任期の最終年度となります。</p> <p>この間、総合的かつ戦略的な人口減少の抑止と定住促進など、おいらせ町創生に向けた取り組みに着手しながらも就任時に掲げました政策公約「笑顔あふれる元気な町」と町の将来像「おいらせの恵みと笑顔あふれるまち」の実現を目指し、職員一丸となって取り組んでまいりました。</p> <p>平成29年度は、これら取り組みの集大成とすべく、これまで以上の情熱とスピード感を持って徹頭徹尾おいらせ町発展のため努めてまいり所存であります。</p> <p>さて、国内の社会経済情勢に目を向けますと、政府の総合的な経済政策、いわゆるアベノミクスの取り組みにより、景気は総じて緩やかな回復基調が続いていると言われております。確かに統計上では完全失業率も改善し、雇用環境も上向いておりますが、個人消費や民間の設備投資は依然として力強さを欠いたものとなっており、経済政策は、いまだ道半ばという状況にあります。</p> <p>また政権が交代した米国の今後の基本姿勢がまだまだ判然としない部分が多く、我が国に及ぼす影響も未知数であり、先行きが極めて不透明な状況となっております。</p> <p>なお、政府が発表した平成28年度実質GDPの成長率につ</p>
--	---

	<p>いては、当初見込んでいた1.7%に対し、実績見込みは残念ながら1.3%にとどまり、経済情勢の好転は期待の水準には、まだ到達しておりません。</p> <p>我が国が今後ますます深刻化する超高齢社会と人口減少時代を乗り越え、そして誰もが等しく安心して暮らすことができる活力あふれる社会の構築と、特に全国的に本格化した地方創生の取り組みを下支えするためにも、政府が打ち出す施策が狙いどおりの成果を上げるよう切に願うものであります。</p> <p>一方、地方においては、全国各自治体において策定した人口ビジョンと、まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取り組みが本格化している段階であります。</p> <p>この地方の創意工夫に基づく取り組みを真の地方創生、真の日本創生につなげていくためには、人口減少により疲弊した地方に対する国の支援、特に財政支援なくしてなし遂げられるものではありません。</p> <p>また、かつての高度成長期において全国的に整備が進められた公共施設の老朽化が進み、多くの公共施設が今後、集中的に耐用年数を迎えることとなります。</p> <p>これらの施設の更新に当たっては、各自治体がすべての費用を負担するのは困難であり、国の補助金等の財政援助が待たれるところであります。</p> <p>しかしながら、国は依然として厳しい財政状況にあるため、耐用年数が到来する公共施設について、すべて更新するのではなく、施設の超寿命化や廃止・統合等による公共施設の再配置を柱とした公共施設等総合管理計画に基づいた取り組みを各地方自治体に対して要請いたしました。</p> <p>この要請を受け、当町におきましても、昨年11月に策定した、おいらせ町公共施設等総合管理計画に基づき、今後、公共施設の長寿命化、維持更新費用の縮減と保有施設の適正化に取り組むこととしております。</p> <p>さて、地方行政運営の基盤である地方財政の状況であります。昨年12月に国が発表した平成29年度地方財政対策では、歳入における地方の一般財源総額は前年度比で0.7%の増を見込んでいるものの、その内訳を見ると、当町にとって重要な財源である地方交付税が前年度比で2.2%減じられる一方で、</p>
--	---

	<p>地方自治体にとって借入金となる臨時財政対策債を6.8%と大幅に増額することにより、一般財源総額を確保している状況にあり、昨年にもまして厳しい内容となっております。</p> <p>また、臨時財政対策債の残高については、年々過去最高を更新し、償還費が国の交付税特別会計を圧迫していることを背景とし、償還を一部、後年度に繰り延べするなど今後の地方交付税制度に不安を感じさせる状況となっております。</p> <p>一方、地方の歳出については、国予算と同様に社会保障関係経費が増加している状況にありますが、まち・ひと・しごと創生事業費に引き続き1兆円を確保するとともに、公共施設等適正管理推進事業費に3,500億円を計上しております。</p> <p>ただし、借入金残高は平成29年度末で195兆円と見込まれており、地方財政は依然として厳しい環境にあつて、かねてからの少子高齢化の進行に加え、顕在化した公共施設の維持管理等の課題に向き合っていかなければならない状況にあります。</p> <p>当町においては、これまでの堅実な財政運営により県内では比較的良好な財政状況にありますが、合併特例により措置されてきた普通交付税の合併算定替え分の段階的削減が既に今年度から始まっている状況下であり、より一層の財政健全化を図る必要に迫られております。</p> <p>このような厳しい環境にあつても、私たちのおいらせ町を創生し、次世代へ引き継ぐためには、特には厳しい決断をしながら各課題へ適時・的確に対応していく必要があります。</p> <p>それでは、平成29年度の町政運営の基本姿勢について、次の2つのキーワードから申し上げます。</p> <p>まず1つ目は「全力」であります。</p> <p>先ほど申しましたように、平成29年度は私の任期の最終年度となります。政策公約を掲げて就任したときの初心を忘れることなく、平成29年度を政策公約実現の集大成の年と位置づけ、任期の最後まで全力の取り組みを続けてまいります。</p> <p>特に「笑顔あふれる元気な町」は私が描く町の目標として最も大事にしているものであり、私たちが愛するふるさと、我がまち「おいらせ町」に誇りを持ち、地域愛や郷土愛を注ぎながら、町民一人一人の笑顔があふれ、明るく元気に健やかに暮ら</p>
--	---

	<p>せる、そのようなまちを目指したいと考えているものであります。</p> <p>そして町民の融和と一体感を深め、町の総合力を結集し、目標実現のための7つの製作の柱、第1に、町民との連携、第2に、次世代を担う人材育成、第3に、町の基幹産業の振興、第4に、人口減少に伴う定住促進、住みよいまちづくり、第5に、安全・安心なまちづくり、第6に、健康長寿で青森県一を目指す、第7に、住民の満足度を増す行財政改革の実現、この7つの柱に位置づけられた具体的施策を町の最上位の計画である、おいらせ町総合計画後期基本計画に織りまぜながら強力かつ着実にスピード感を持って全力で実行してまいります。</p> <p>次の2つ目のキーワードは「結集と連携」であります。</p> <p>国内外で時代の流れが大きく変わろうしております。その激動の時代にあって当町が持続的に成長するため、2万5,000人の町民の力を結集し、おいらせ町が一丸となり、次の10年を見据えたまちづくりに取り組んでまいります。</p> <p>また、議員各位ご承知のように、当町は県内でも少ない職員体制となっていることから、縦の連携と横の連携を初め、あらゆる面での連携を図り、組織力を高め、効果的に行政運営を進めることが重要であります。</p> <p>さらには新たな広域連携の仕組みも始まります。人の和、地域の和、そして多様な地域資源を生かし、人と人とが共に連携することを大切にして新たな課題と新たな施策に取り組んでまいります。</p> <p>続いて、平成29年度の主要施策について、まちづくり施策推進の基軸となる、おいらせ町総合計画後期基本計画の7つの基本方針に沿ってご説明申し上げます。</p> <p>まず、基本方針1「住民と議会・行政がともに考え、行動するまち」であります。が、「共同・コミュニケーション・参画」をキーワードに各施策に取り組んでまいります。</p> <p>町政の推進は、町民の皆様と連携を図りながら積極的な参画と参加、行動の積み重ねによって実現されるものと思っております。「地域のことは地域が主体になって考え、行動する」という理念のもと、まちづくりの主体である町民、議会、行政との連携を密にし、自治基本条例の積極的な運用、推進に力を入れて</p>
--	--

	<p>まいります。</p> <p>特に、町政のさまざまな分野への町民参画の機会を充実させるほか、協働のまちづくりの推進を目指し、その基盤となる住民自治組織・地域づくり協議会への活動支援と制度の普及に取り組む、また、町内会や各種団体のまちづくり活動の支援としてハートピア助成制度事業を引き続き実施いたします。</p> <p>次に、基本方針2「自然と利便性が調和するまち」ですが、「自然・土地利用・景観」をキーワードに各施策に取り組んでまいります。</p> <p>中でも土地利用の適正化は各地域の個性や魅力を生かしつつ、町の発展を維持し続けるために必要であることから、平成29年度は都市計画マスタープラン策定に向けて特に力を入れて取り組んでまいります。</p> <p>また、町の農業の将来を見据え、総合的な農業の振興と健全な発展のため、基礎調査結果を踏まえ、各種計画との整合性を図りながら町農業振興地域整備計画の見直しを行います。</p> <p>次に、基本方針3「心豊かな人育てと伝統・文化が香るまち」ですが「生涯学習・教育・文化・スポーツ」をキーワードに各施策に取り組んでまいります。</p> <p>学校教育施設の整備として児童生徒が安心して学習できる教育環境の充実を図るため、百石中学校の講堂改築に向け、造成工事を行うことに加え、町内すべての小中学校のトイレの洋式化に向け実施設計を行います。</p> <p>また老朽化した舗装改修のため、各小学校の屋外環境整備を行います。</p> <p>学校教育の支援策として、学習指導要領改訂により平成32年度から英語が小学5年、6年で正式教科となることに加え、中学校ではコミュニケーション力の育成に一層力を入れることになり、平成30年度以降におけるALT増員等学習環境の整備を検討してまいります。</p> <p>このほか百石高等学校の教育活動を支援するため、アクティブラーニング型授業等への支援を引き続き行うほか、高校生レストランを初めとし、全国高校生SBP交流フェア等地域貢献につながる活動に対して強力な支援を行い、地域で活躍する人材の育成を図ります。</p>
--	--

	<p>さらには町民の豊かな人間性を育む生涯学習推進事業の柱として昨年スタートした、おいらせの学びカレッジの内容充実を図ります。</p> <p>なお、町民プールについては、平成30年度の供用開始を目指し、いよいよ建設工事に着手するほか、政策公約に掲げております多目的ドームの整備検討については、コンサルタント等専門家の支援を受け、新たに設置する附属機関における基本構想案と基本計画案の検討へと取り組みを進めてまいります。</p> <p>次に、基本方針4「快適で安心して暮らすことができるまち」であります、「安全・安心・生活情報基盤・環境」をキーワードに各施策に取り組んでまいります。</p> <p>災害時の情報伝達手段の要として整備を進めている百石地区防災行政無線のデジタル化のほか、消防体制の強化を図るため、百石第9分団屯所の移転建設のほか下田第8分団の消防ポンプ車両の更新を行います。</p> <p>さらには地域防災力の強化のため、自主防災組織等による地区防災訓練の実施を引き続き支援するほか、地区防災のリーダーとして防災士の活動を支援するソフト事業に取り組んでまいります。</p> <p>また、住環境整備施策では、生活関連道路整備計画に基づく町道整備事業や道路維持管理事業、下水道施設では長寿命化対策などを実施してまいります。特に、おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取り組みにつきましては、移住定住を促進させるため、地域の元気再生定住促進事業の見直しや洋光台団地の軟弱地盤利活用方針の検討に加え、新たに空家バンク制度、同窓会交流支援制度、結婚支援員の創設や地域おこし協力隊の設置など、本格的に各種事業を展開してまいります。</p> <p>このほか八戸市の中核市移行及び連携中枢都市宣言に伴い、八戸圏域連携中枢都市圏の形成に向けて連携協約を締結し、圏域市町村との広域連携により圏域全体の経済成長の牽引、高次の都市機能の集約強化、圏域全体の生活関連機能サービスの向上に取り組んでまいります。</p> <p>次に、基本方針5「みんなが互いに助け合うまち」であります、「保険・医療・福祉」をキーワードに各施策に取り組んでまいります。</p>
--	---

	<p>特に、健康長寿の取り組みは政策公約の中でも優先度が高く、7つの政策の柱の一つである「健康長寿で青森県一を目指す」を強力に推し進めるため、健活ポイント事業を引き続き実施することに加え、季節性インフルエンザ予防接種助成の対象を乳幼児、児童及び妊産婦まで拡大するほか各種健康増進事業の、より一層の充実強化を図ります。</p> <p>また少子化対策には、安心して子育てができる各種サポートや環境が必要であることから、引き続き総合的な子育て支援策の充実を図るとともに、第3子以降の保育料無料化、中学生までの医療費助成等を初めとする各種取り組みを継続して行うほか、多子出産祝い金支給事業について効果検証を行いながらPRと効果的推進に努めてまいります。</p> <p>さらには児童館・放課後児童クラブの開設時間を平成29年度から延長することにより、保護者のワークライフバランスの実現に向け、対応してまいります。</p> <p>介護保険・高齢者支援策では、最終年度となる第6期介護保険事業計画の分析と評価を行った上で第7期計画の策定を行うことにより、適切かつ安定的な制度の運営を図ります。</p> <p>また地域支援事業では、在宅医療と介護の連携を強化し、切れ目のない一体的な支援体制の整備を進めることに加え、生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置を初めとする各種施策を新たに展開し、高齢者の健康生活の継続と健康寿命の延伸に向けた取り組みの強化を図ります。</p> <p>なお、昨年、全面的に各地区開催へと移行した敬老会運営事業については、各地区のイベントとして定着するよう、環境づくりを支援してまいります。</p> <p>国民健康保険おいらせ病院については、地域医療を担う病院として、引き続き医師、看護師等医療スタッフの確保など医療提供体制の充実と経営基盤の強化に努めることに加え、地域包括ケア病床の増床を行い、患者の在宅復帰支援の強化を図ります。</p> <p>さらには統合型医療システムを導入し、外来の待ち時間の短縮等診療サービスの向上を図ります。</p> <p>次に、基本方針6「活力を創出し、住み続けることができるまち」ではありますが、「農林水産業・商工業・観光・雇用」をキ</p>
--	--

	<p>ーワードに各施策に取り組んでまいります。</p> <p>産業は、町民の生活向上はもとより地域社会づくりを推進する基盤であり、町の元気と活力を生み出していくためには産業の振興と雇用の創出は必要不可欠であります。</p> <p>当町は交通の利便性や立地条件などに大変恵まれた町であることを生かし、引き続き、私みずからが精力的なトップセールスを行うことに加え、議員各位のご理解を賜り、工場誘致条例の改正による誘致企業奨励制度の条件緩和、各種奨励金の増額と新設を行うことにより、企業誘致の取り組みを、さらに強化してまいります。</p> <p>また商工業振興策として商工会との連携のもと、本町商店街に賑わいを取り戻す施策として、軽トラ市等の実施に向けた商店街活性化イベント補助事業を行い、小規模事業者経営改善利子補給などにより中小企業者を引き続き支援してまいります。</p> <p>雇用対策では町地域雇用創出推進基金を活用した緊急雇用奨励金交付事業を継続して実施するほか、地方創生関連事業として地域空き店舗活用支援事業、商工会の街なかサロンへの運営助成などを引き続き実施してまいります。</p> <p>消費生活対策では、安全で安心な地域づくりの推進と消費者被害の未然防止や早期解決を図るため、平成26年度から八戸市と当町を含む周辺7町村の連携のもと、広域的な消費生活相談事業を実施しており、地域や関係者の皆様との連携を図りながら、今後も引き続き相談体制の維持または強化に取り組んでまいります。</p> <p>農業、漁業は町発展の基礎となる重要な産業であり、地域振興の要であるとの認識のもと、農業、漁業関係者と連携を図りながら地に足のついた振興策や基盤整備を推進してまいります。</p> <p>農業分野では中心経営体の発展を支援するための経営体育成支援事業や米価下落対策の一環として、稲作生産コスト低減のための直播き栽培用機械購入費助成を引き続き実施するほか、地震等で脆弱となった幹線用排水路や農道の機能を回復するための県営事業を継続実施するとともに、長期に使用されていない前田堤ため池の廃止事業を進め、安全安心な農業基盤整備に取り組んでまいります。</p>
--	--

	<p>漁業分野では、漁業活動の安全性向上と効率化を図るため、県負担金事業である百石漁港の漁港施設機能強化・機能保全事業などに引き続き取り組んでまいります。</p> <p>次に、基本方針7「住民主体のまちづくりを支える基盤づくり」ではありますが、「行財政」をキーワードに各施策に取り組んでまいります。</p> <p>依然として厳しい社会経済状況においても、将来に向け、持続的に発展し続けるまちづくりを着実に進めていくため、足腰の強い行財政基盤の構築が必要であります。</p> <p>引き続き、町税等自主財源の確保を図りながら、健全な財政運営に向けた予算編成を行うほか、昨年策定いたしました「おいらせ町公共施設等総合管理計画」に基づく個別施設計画の策定に着手いたします。</p> <p>また、行政は最大のサービス産業という考えのもと、昨年策定した、おいらせ町行政経営計画に基づき、従来の管理型行政改革から経営型行政改革への脱却を図り、住民サービス向上を続けることができる磐石な行政組織の構築を図ります。</p> <p>とりわけ職員の意識改革や資質向上を効果的かつ計画的に行うため、研修事業の充実化や昨年4月に施行した人事評価制度の効果的運用を初めとする各種の取り組みをPDCAサイクルによる検証と改善を繰り返すことにより人事制度の充実強化を図ります。</p> <p>また私が掲げる町の政策目標「笑顔あふれる元気な町」の実現に向け、その足元である役場から、あいさつ、笑顔、元気を発信し、協働のまちづくりを推し進めるため、町民等からの意見、提案等を町政に反映させるべく集団広聴を引き続き重点的に取り組んでまいります。</p> <p>なお、現在の第1次おいらせ町総合計画は、平成21年度から平成30年度までの10年間の計画期間であります。総合計画は町の次の10年のビジョン、指針となる最上位の計画であることから、平成29年度から次期計画の策定に向け、検討作業に着手してまいります。</p> <p>以上、おいらせ町総合計画の施策体系に沿って主要な施策を申し述べました。</p> <p>今後も刻々と変化する社会経済情勢に柔軟かつ適時的確に対</p>
--	---

	<p>応し続けていく必要があることから、これらの施策推進に当たっては、これまでに引き続き、事業の優先度や緊急度を踏まえ、選択と集中により当職を初め職員一丸となって全力で取り組んでまいります。</p> <p>また、これら施策実施の裏付けとなります平成29年度当初予算であります。将来にわたり健全財政を維持することを基本として、引き続き経営感覚を意識しつつ事務事業の見直しに努め、費用対効果を十分に考慮し、経費の削減と限られた財源の重点的かつ効果的な配分にも意を用いて編成を行っており、各会計の予算規模は一般会計が103億3,180万円、6つの特別会計の合計が67億6,594万5,000円、公営企業会計が10億3,348万2,000円となり、総額181億3,122万7,000円となります。</p> <p>以上、町政の運営方針について私の所信の一端を申し上げます。</p> <p>昨年公表された国勢調査の結果で明らかになったように、現在、我が国は本格的な人口減少社会に突入しております。</p> <p>先ほど触れましたように、その中であって当町は、おいらせ町まち・ひと・しごと創生総合戦略に基づく取り組みを本格的に推進し、人口減少の抑止と定住促進に向けた具体的施策の展開など直面している課題に的確に対応し、持続的に発展させることにより、子どもからお年寄りまでのすべての世代が健康で安心して暮らし、次の世代が夢と希望を持てる町に築き上げていかなければなりません。</p> <p>また私の政策目標とする「笑顔あふれる元気な町」さらには町の将来像「おいらせ川の恵みと笑顔あふれるまち」を実現するため、平成29年度を集大成とすべく、原点に戻り、粉骨砕身の覚悟で取り組んでまいりますので、改めまして議員各位を初め町民の皆様の一層のご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。</p> <p>結びになりますが、私が町政に携わるに当たり信条としている教訓に「至誠息む無し」という言葉があります。中国の古典からの引用であります。利己心を交えない純粋な心、純粋な誠は休むことなく働き続けるという意味であります。</p> <p>町政を預かる者として、見返りを求めず、ただひたすら町民</p>
--	--

提案理由の 説明	馬場議長	<p>の幸せと町発展を願い、今後とも誠心誠意努めてまいりますことを心からお誓い申し上げ、所信表明といたします。</p> <p>ご清聴ありがとうございました。</p> <p>総務課長。</p>
	総務課長 (小向道彦君)	<p>ただいまの所信表明で1カ所訂正がございます。</p> <p>7ページ、下から2行目の「第2に次世代を担う人材育成」と申し上げましたが、正しくは「第2に次代を担う人材育成」でございます。</p> <p>以上でございます。</p>
	馬場議長	<p>以上で所信表明が終わりました。</p>
	馬場議長	<p>日程第5、議案の一括上程について。</p> <p>報告第3号から報告第4号まで及び諮問第1号並びに議案第2号から議案第34号までの以上36件を一括上程いたします。</p> <p>町長から提案理由の説明を求めます。</p> <p>町長、演壇にてお願いします。</p>
	町長 (三村正太郎君)	<p>議員各位には何かとご多用のところご出席いただきまして、まことにありがとうございます。</p> <p>それでは、本定例会に提案いたしました議案の提案理由をご説明申し上げます。</p> <p>初めに、報告第3号、対物事故による損害賠償の額の決定に係る専決処分の報告についてご説明申し上げます。</p> <p>本件は、地方自治法第180条第1項及びおいらせ町の専決処分できる簡易な事項の指定について第1号の規定により去る1月24日付で専決処分を行ったものであります。</p> <p>その内容につきましては、おいらせ町立蛇地内において町職員が運転する公用車が凍結路面でスリップし、町内在住の方の自宅のフェンスに衝突し、フェンスの一部を損壊させたものであります。その損害賠償として10万6,920円を支払い、示談が成立しております。</p>

	<p>次に、報告第4号、平成28年度おいらせ町一般会計補正予算の専決処分の承認を求めることについてご説明申し上げます。</p> <p>本件は、既定予算の総額に3,500万円を追加し、予算の総額を122億7,021万9,000円としたもので、去る2月1日付で専決処分を行ったものであります。</p> <p>その内容であります。降雪による除雪経費の執行見込みと今後の除雪作業費を精査し、歳出の土木費において除雪対策費3,500万円を増額し、その財源として、歳入において財政調整基金繰入金と同額分増額したものであります。</p> <p>次に、諮問第1号、人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、人権擁護委員の津曲洋子氏が本年6月30日で任期満了となることから次期の委員候補者として和田貴美子氏を推薦したく人権擁護委員法第6条第3項の規定により議会の意見を求めるものであります。</p> <p>次に、議案第2号、おいらせ町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、おいらせ阿光坊古墳館条例の施行に伴い、行政職の級別職務分類表に館長補佐を加えるため提案するものであります。</p> <p>次に、議案第3号、おいらせ町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償額に関する条例の一部を改正する条例についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、農地利用最適化交付金実施要綱の制定に伴う農業委員会会長等の報酬額の改正及び地域おこし協力隊の設置に伴う報酬額の追加を行うため提案するものであります。</p> <p>次に、議案第4号、おいらせ町執行機関の附属機関の設置等に関する条例の一部を改正する条例についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、法律改正等に伴い、附属機関の新設、名称変更及び構成の見直しを行うため提案するものであります。</p> <p>次に、議案第5号、おいらせ町個人情報保護条例等の一部を改正する条例について及び議案第6号、おいらせ町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条</p>
--	---

	<p>例については、関連がありますので一括してご説明申し上げます。</p> <p>本案は、個人情報の保護に関する法律及び行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴い、所要の改正を行うため提案するものであります。</p> <p>次に、議案第7号、おいらせ町職員の勤務時間、休憩等に関する条例の一部を改正する条例についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、児童福祉法の一部改正に伴い、本条例で引用する条項を改めるため、提案するものであります。</p> <p>次に、議案第8号、おいらせ町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、国及び県の取り扱いに準じて非常勤職員の育児休業について定めるため及び児童福祉法の一部改正に伴い、引用条項を改めるなど所要の改正を行うため、提案するものであります。</p> <p>次に、議案第9号、おいらせ町特別会計条例の一部を改正する条例についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、洋光台団地内の土地を取得するために設置された、おいらせ町公共用地取得事業特別会計について本年3月で町債の償還が終了し、事業費が縮小することから当該特別会計を廃止するため提案するものであります。</p> <p>次に、議案第10号、おいらせ町町税条例等の一部を改正する条例についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、消費税率引き上げが平成31年10月へ延期されたことに伴い、平成28年度における地方税制改正措置の一部が同様に延期されたため、町税に関する規定について所要の改正を行うため提案するものであります。</p> <p>次に、議案第11号、おいらせ町工場誘致奨励条例の一部を改正する条例についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、企業誘致推進のため優遇措置対象要件の緩和、奨励金の改正及び追加を行うため、提案するものであります。</p> <p>次に、議案第12号、町道の路線認定についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、町道整備事業により整備された木内々5号線ほか1</p>
--	---

	<p>1 路線について、道路法第 8 条第 2 項の規定に基づき、当該路線を町道認定するため、提案するものであります。</p> <p>次に、議案第 1 3 号、青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、青森県市町村総合事務組合を組織する八戸市階上町田代小学校中学校組合の解散に伴う組織団体数の減少及び規約の変更について地方自治法第 2 8 6 条第 1 項及び同法 2 9 0 条の規定に基づき、関係地方公共団体の議会の議決を要するため提案するものであります。</p> <p>次に、議案第 1 4 号、八戸地域広域ふるさと市町村圏基金に対する出資金の権利の放棄についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、平成 2 9 年度からの八戸圏域連携中枢都市圏形成に当たり、八戸地域広域市町村圏事務組合で設置している八戸地域広域ふるさと市町村圏基金を取り崩し、連携中枢都市圏の連携事業に充てるため、地方自治法第 9 6 条第 1 項第 1 0 号の規定により同基金に対する出資金に係る権利の放棄について提案するものであります。</p> <p>次に、議案第 1 5 号、八戸地域広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の変更についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、議案第 1 4 号と関連するものでありますが、平成 2 9 年度から八戸圏域連携中枢都市圏形成に当たり、地方自治法第 2 8 6 条第 1 項の規定により八戸地域広域市町村圏事務組合の共同処理する事務の変更及び出資金の権利放棄に伴う基金の廃止並びに規約の変更について協議するため提案するものであります。</p> <p>次に、議案第 1 6 号、八戸圏域連携中枢都市圏の形成に係る連携協約の締結についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、先の議案第 1 4 号、第 1 5 号と関連するものでありますが、平成 2 9 年度からの八戸圏域連携中枢都市圏形成に当たり、地方自治法第 2 5 2 条の 2 第 3 項の規定により八戸市との間において連携中枢都市圏形成に係る連携協約を締結することについて協議するため提案するものであります。</p> <p>次に、議案第 1 7 号、八戸圏域定住自立圏形成協定の廃止に</p>
--	--

	<p>ついてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、先の議案第14号、第15号、第16号と関連するものでありますが、平成29年度からの八戸圏域連携中枢都市圏形成に伴い、八戸市との間で締結した定住自立圏形成協定を本年3月31日をもって廃止するため、おいらせ町議会の議決すべき事件を定める条例第2条第1項の規定により提案するものであります。</p> <p>次に、議案第18号、青森県新産業都市建設事業団に委託すべき事業に関する計画の一部変更に係る協議についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、青森県新産業都市建設事業団の事業に係る一般管理費について当該事業団の計画に平成29年度において負担する額を加えるため、地方自治法の一部を改正する法律附則第3条による改正前の地方自治法第300条第1項の規定により提案するものであります。</p> <p>次に、議案第19号、平成28年度おいらせ町一般会計補正予算についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、既定予算の総額から1億4,373万円を減額し、予算の総額を121億2,648万9,000円とするものであります。</p> <p>歳出の主な内容であります。総務費では公共施設整備基金積立金5,000万円の追加、民生費では子どものための教育・保育給付費955万円の増額、消防費では防災行政無線施設整備工事費877万3,000円の増額を行うほか、各款にわたって事業の完了や執行見込額の精査により減額するものであります。</p> <p>一方、歳入であります。町税を初め負担金、国県支出金等について収入見込額の精査により増額または減額を行うほか繰入金では歳入歳出財源調整のため財政調整基金繰入金5,507万5,000円を減額、また町債では阿光坊古墳群ガイダンス施設建設事業債について事業費の確定により減額し、学校給食センター建設事業債について起債における地方交付税措置を精査し、借入起債の変更を行うものであります。</p> <p>このほか第2表、継続費補正では1件の事業費総額と年割額の変更、第3表、繰越明許費補正では1件の事業追加、第4表、</p>
--	---

	<p>地方債補正では1件の事業追加と6件の限度額変更、1件の事業廃止を行うものであります。</p> <p>次に、議案第20号、平成28年度おいらせ町国民健康保険特別会計補正予算についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、既定予算の総額から2,115万円を減額し、予算の総額を30億1,812万3,000円とするものであります。</p> <p>主な内容につきましては、歳出では執行見込額の精査により保険給付費及び共同事業拠出金を減額し、歳入では国庫支出金及び共同事業交付金を減額するほか、繰入金を増額するものであります。</p> <p>次に、議案第21号、平成28年度おいらせ町奨学資金貸付事業特別会計補正予算についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、既定予算の総額に9万1,000円を追加し、予算の総額を2,260万8,000円とするものであります。</p> <p>主な内容につきましては、歳出では貸与辞退により貸付金を減額したほか3件の寄附金及びふるさと応援寄附金の増収に伴い、基金積立金を増額し、歳入では寄附金、一般会計繰入金及び貸付金収入を増額し、あわせて基金繰入金を減額するものであります。</p> <p>次に、議案第22号、平成28年度おいらせ町公共下水道事業特別会計補正予算についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、既定予算の総額から2,716万8,000円を減額し、予算の総額を11億3,544万5,000円とするものであります。</p> <p>主な内容につきましては、歳出では事業費の精査により委託料及び工事請負費を減額し、歳入では収入見込額の精査により分担金及び負担金を増額したほか、町債、一般会計繰入金を減額するものであります。</p> <p>なお、第2表、地方債補正につきましては、限度額を変更するものであります。</p> <p>次に、議案第23号、平成28年度おいらせ町農業集落排水事業特別会計補正予算についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、既定予算の総額から95万4,000円を減額し、予算の総額を1億3,649万円とするものであります。</p>
--	--

	<p>主な内容につきましては、歳出では事業費の精査により委託料及び工事請負費を減額し、歳入では収入見込額の精査により使用料を増額したほか、町債、一般会計繰入金を減額するものであります。</p> <p>なお、第2表、地方債補正につきましては、限度額を変更するものであります。</p> <p>次に、議案第24号、平成28年度おいらせ町介護保険特別会計補正予算についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、既定予算の総額から9,956万4,000円を減額し、予算の総額を22億3,191万3,000円とするものであります。</p> <p>主な内容につきましては、歳出では執行見込額の精査により保険給付費を減額、基金積立金を増額し、歳入では介護保険料を増額したほか、国庫支出金、支払基金交付金、県支出金及び繰入金を減額するものであります。</p> <p>次に、議案第25号、平成28年度おいらせ町後期高齢者医療特別会計補正予算についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、既定予算の総額に783万9,000円を追加し、予算の総額を1億6,865万8,000円とするものであります。</p> <p>その主な内容につきましては、歳出では後期高齢者医療広域連合納付金を増額し、歳入では収入見込み額の精査により後期高齢者医療保険料を増額するものであります。</p> <p>次に、議案第26号、平成28年度おいらせ町病院事業会計補正予算についてご説明申し上げます。</p> <p>本案は、収益的収入及び支出の既決予定額から2,466万1,000円を減額し、予定額を9億6,043万円とするほか、資本的収入の既決予定額を320万9,000円減額し、予定額を4,515万2,000円とし、資本的支出の既決予定額を499万1,000円減額し、予定額を7,547万円とするものであります。</p> <p>なお、資本的収入の不足額につきましては、当年度分損益勘定留保資金を充当するものであります。</p> <p>次に、議案第27号、平成29年度おいらせ町一般会計予算についてご説明を申し上げます。</p>
--	--

	<p>地方を取り巻く財政環境は依然として厳しい状況が続いております。平成29年度地方財政対策では一億総活躍社会の実現や地方創生、公共施設等の適正管理に取り組みつつ、地方の安定的な財政運営に必要となる一般財源総額について平成28年度地方財政計画を上回る額を確保することとし、前年度費0.7%の増を見込んでおりますが、地方税収入や地方交付税の原資となる国税収入が高水準で推移するものの伸びが鈍化し、さらには交付税特別会計における前年度からの繰越金がないこと、社会保障関係費の自然増等により財源不足は6兆9,710億円に達すると見込まれております。</p> <p>また地方交付税は前年度費2.2%の減となる一方で、交付税の不足分を補うための臨時財政対策に当たっては前年度比6.8%の増となり、さらに平成29年度末における借入金残高は195兆円という高い数値が見込まれ、極めて厳しい地方財政状況となっております。</p> <p>当町の財政状況を見ますと、これまでの堅実な財政運営により比較的健全な状態を維持しておりますが、扶助費などの社会保障費の増大、公共施設等の整備や老朽化に伴う維持管理経費の増大が見込まれ、さらには合併の特例により措置されている普通交付税の合併算定替え分が段階的に減額されることから、将来的に現行の予算規模での財政運営は厳しい状況になることが予想されます。</p> <p>このため行財政の効率化や事務事業の見直し、経費の節減に努め、臨時的経費のみならず経常的経費についても歳出削減を図るとともに地方債の繰り上げ償還や臨時財政対策債の借入抑制を推進し、地方債償還費の抑制を図るなど持続可能な財政基盤の確立に取り組んできたところであります。</p> <p>このような中、平成29年度の予算編成に当たりましては、健全財政の維持を基本とし、引き続き経費の削減と限られた財源の重点的かつ効果的な配分に努めるとともに町総合計画に定めるまちづくりの基本方針を柱としつつ、政策公約実現に向けた施策の推進にも意を用いました。</p> <p>この結果、編成いたしました平成29年度一般会計の予算総額は103億3,180万円で前年度と比較いたしますと、1.5%の減、1億5,470万円の減額となっております。</p>
--	--

	<p>初めに、歳入の主なものについてご説明申し上げます。</p> <p>自主財源として、その大宗を占める町税につきましては、町たばこ税を除き、各税目で増収が見込まれることから増額計上をいたしました。</p> <p>地方消費税交付金につきましては、平成28年度の交付実績等を勘案し、減額計上し、地方交付税につきましては、普通交付税の合併算定替えや算定方法の改正、国の地方財政計画を考慮し、減額計上いたしました。</p> <p>国・県支出金につきましては、歳出の事業費に対応して見込額を計上しておりますが、電源立地地域対策交付金につきましては、町民プール整備事業により大幅な増額となっております。</p> <p>繰入金につきましては、財政調整基金、東日本大震災復興交付金基金繰入金の増等により増額計上いたしました。</p> <p>町債につきましては、臨時財政対策債を初めとした10事業の借入れを計上しており、前年度より大幅な減額となっております。</p> <p>次に、歳出につきましては、平成29年度において新規、拡大及び重点事業としたものの中から主なものをご説明申し上げます。</p> <p>総務費では、町総合計画の次期計画策定に向けた町総合計画策定業務委託料、地方創生の新たな取り組みとして地域おこし協力隊員報酬や同窓会交流促進支援事業補助金を計上したほか、任期満了に伴う町長選挙費を計上しております。</p> <p>民生費では八戸圏域連携中枢都市圏連携事業として、救急医療情報キット配布事業費負担金を計上したほか、子育て支援の充実を図るため、児童館・放課後児童クラブの開設時間延長に向けた児童構成員の賃金及び放課後児童健全育成事業委託料を増額し、子ども医療助成費や多子出産祝い金を引き続き計上しております。</p> <p>衛生費では健康長寿の取り組みとして、引き続き健活ポイント事業奨励金など健活ポイント事業関係経費を計上したほか、季節性インフルエンザ予防接種助成の対象拡大に向け、乳幼児等予防接種委託料を増額計上いたしました。</p> <p>労働費では、雇用対策として緊急雇用奨励金を引き続き計上し、農林水産業費では農業振興策として荒廃農地等利活用促進</p>
--	--

	<p>補助金や稲作農業生産コスト低減対策機械購入費補助事業、農業振興地域整備計画書修正業務委託料を計上いたしました。</p> <p>商工費では、商工業振興策として地域空き店舗活用支援事業助成金、商工会小さな拠点事業補助金を引き続き計上し、八戸圏域連携中枢都市圏連携事業ではシアトルプロモーション事業費負担金を計上したほか、百石高等学校の活動支援、地域活性化のため高校レストラン支援補助金及び全国高校生交流SBPフェア補助金を計上いたしました。</p> <p>土木費では、住環境整備として町道舗装補修工事費及び私道整備補助金を計上したほか、都市計画の見直しに向けた都市計画マスタープラン策定業務委託料を計上いたしました。</p> <p>消防費では消防体制の充実強化を図るため、消防団員の出勤に係る費用弁償を単価改定に伴い、増額計上したほか、百石第9分団拠点施設建て替え工事費及び消防ポンプ自動車購入費を計上し、平成28年度からの継続事業として百石地区防災行政無線放送施設整備事業の関連工事費を計上いたしました。</p> <p>教育費では学校教育環境の整備として小学校屋外環境整備工事費、小中学校トイレ改修工事実施設計委託料、百石中学校講堂建築造成工事費をそれぞれ計上し、学校給食センター整備事業では、屋外環境等整備工事費や施設備品等購入に伴う消耗品費、備品購入費を計上したほか、町民プール着工に向けたプール施設建設工事費及び多目的ドーム整備に向けた検討業務委託料を計上いたしました。</p> <p>なお、第2表、継続費は1件の事業について、第3表、債務負担行為は1件の事業について、第4表、地方債は10件の事業について、それぞれ定めるものであります。</p> <p>次に、議案第28号、平成29年度おいらせ町国民健康保険特別会計予算についてご説明申し上げます。</p> <p>予算の総額は30億2,200万6,000円で、前年度と比較いたしますと、0.3%の増、937万8,000円の増額となっております。</p> <p>主なものとして、保険給付費、後期高齢者支援金等及び共同事業拠出金を計上いたしました。</p> <p>次に、議案第29号、平成29年度おいらせ町奨学資金貸付事業特別会計予算について、ご説明申し上げます。</p>
--	--

		<p>予算の総額は、2,556万円で前年度と比較いたしますと10.1%の増、233万9,000円の増額となっております。</p> <p>主なものとして、継続貸付者34人、新規貸付者18人を見込んで計上いたしました。</p> <p>次に、議案第30号、平成29年度おいらせ町公共下水道事業特別会計予算についてご説明申し上げます。</p> <p>予算の総額は11億952万4,000円で、前年度と比較いたしますと、2.8%の減、3,254万4,000円の減額となっております。</p> <p>主なものとして、馬淵川流域下水道維持管理負担金及び下水道整備工事費のほか公債費を計上いたしました。</p> <p>なお、第2表、地方債につきましては、3件について限度額等を定めるものであります。</p> <p>次に、議案第31号、平成29年度おいらせ町農業集落排水事業特別会計予算についてご説明申し上げます。</p> <p>予算の総額は、1億3,044万6,000円で、前年度と比較いたしますと、3.1%の減、412万5,000円の減額となっております。</p> <p>主なものとして、古間木山地区処理施設維持管理業務委託料及び農業集落排水施設更新工事費のほか公債費を計上いたしました。</p> <p>なお、第2表、地方債につきましては、2件について限度額等を定めるものであります。</p> <p>次に、議案第32号、平成29年度おいらせ町介護保険特別会計予算についてご説明申し上げます。</p> <p>予算の総額は23億858万4,000円で、前年度と比較いたしますと、2.8%の増、6,228万5,000円の増額となっております。</p> <p>主なものとして、保険給付費及び地域支援事業費のほか公債費を計上いたしました。</p> <p>次に、議案第33号、平成29年度おいらせ町後期高齢者医療特別会計予算についてご説明申し上げます。</p> <p>予算の総額は、1億6,982万5,000円で、前年度と比較いたしますと、6.5%の増、1,040万8,000円</p>
--	--	--

	<p>馬場議長</p> <p>総務課長 (小向道彦君)</p>	<p>の増額となっております。</p> <p>主なものとして、後期高齢者医療広域連合納付金を計上いたしました。</p> <p>次に、議案第34号、平成29年度おいらせ町病院事業会計予算についてご説明申し上げます。</p> <p>まず、収益的収入及び支出の当初予定額は9億5,702万1,000円で、前年度と比較いたしますと、0.5%の減、463万4,000円の減となっております。</p> <p>一方、資本的収入の当初予定額は4,754万円、支出の当初予定額は7,646万1,000円で、不足する2,892万1,000円は、当年度損益勘定留保資金で補填するものであります。</p> <p>以上、本定例会に提案いたしました議案の提案理由を申し上げますが、詳細につきましては、審議の過程におきまして、本職を初め担当課長に説明させますので、何とぞ慎重にご審議の上議決いただきますよう、お願い申し上げます。</p> <p>総務課長。</p> <p>ただいまの提案理由で訂正がございます。</p> <p>1ページ目の中ほどに「本件は地方自治法第180条第1項及びおいらせ町の」と申しましたが、正しくは「おいらせ町長の」であります。</p> <p>続きまして、4ページ、議案第7号、おいらせ町職員の勤務時間、休憩等」と申しましたが、正しくは「休暇等」であります。</p> <p>次に、10ページ、下から3行目に「防災行政無線施設整備」と申し上げましたが、正しくは「防災行政無線放送施設整備」であります。</p> <p>次に、20ページ、中ほどに「稲作農業生産コスト低減対策機械購入費補助事業」と申し上げましたが、正しくは「補助金」でございます。</p> <p>以上であります。</p>
--	-------------------------------------	--

	<p>馬場議長</p>	<p>以上で提案理由の説明が終わりました。</p> <p>日程第6、予算特別委員会の設置及び議案の付託についてを議題といたします。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>議案第27号、平成29年度おいらせ町一般会計予算についてから議案第34号、平成29年度おいらせ町病院事業会計予算についてまでの8議案については、議長を含めた全議員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上審査することにしたいと思っております。</p> <p>これにご異議ありませんか。</p>
	<p>(議員席)</p>	<p>***なしの声***</p>
	<p>馬場議長</p>	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、議案第27号から議案第34号までの8議案については全議員をもって構成する予算特別委員会を設置し、これに付託の上、審査することに決しました。</p>
	<p>馬場議長</p>	<p>次に、予算特別委員会委員長及び副委員長の互選を行います。</p> <p>互選についてであります。先般開催されました議会運営委員会において産業民生常任委員会委員長と同副委員長が当たることとし、話し合われましたので、この方法によって互選したいと思っております。これにご異議ありませんか。</p>
	<p>(議員席)</p>	<p>***なしの声***</p>
	<p>馬場議長</p>	<p>異議なしと認めます。</p> <p>お諮りいたします。</p> <p>予算特別委員会の委員長には産業民生常任委員会委員長である檀山忠議員、副委員長には同副委員長である田中正一議員を選任することにご異議ありませんか。</p>
	<p>(議員席)</p>	<p>***なしの声***</p>
	<p>馬場議長</p>	<p>異議なしと認めます。</p> <p>よって、委員長に檀山忠議員が、副委員長に田中正一議員が選任されました。</p>
	<p>馬場議長</p>	<p>日程第7、行政報告の申し入れがありましたので、これを許します。</p>

<p>当局の説明</p>	<p>町民課長 (澤田常男君)</p>	<p>当局の説明を求めます。</p> <p>町民課長。</p> <p>それでは、行政報告に入ります前に皆様にお知らせいたします。</p> <p>事前に配付しておりました資料を確認しましたところ、ページが抜けておりました。本日お手元のほうに配付しておりますので、そちらのほうをごらんになっていただきたいと思います。大変申しわけございませんでした。</p> <p>それでは、保育料の改定についてご説明いたします。</p> <p>資料№.1でございます。資料は1ページから3ページまでございますが、2ページが1号認定、幼稚園等利用者の資料となります。3ページが2号、3号、保育所等の利用者の資料となります。</p> <p>資料が左側が町の算定額、右側が国の基準額というふうになって対比できるようになっておりますので、ご確認ください。</p> <p>説明のために複数のページを前後して説明することになりますので、ご了承ください。</p> <p>それでは、現在の保育料については平成27年の第1回定例議会において行政報告をして新制度のもとに保育料として保護者の皆様の負担増とならないように努め、設定したものでありまして、平成27年4月から適用しておるものでございます。</p> <p>保育料を改定する経緯についてでございますが、子ども子育て支援法施行令で規定する保育所、幼稚園、認定子ども園等を利用した際の保護者が利用する負担費用、いわゆる保育料国基準額でございます、の一部が改正となりまして、平成29年4月より施行されることに伴い、町子ども・子育て支援法施行細則で規定する町が定める保育料についても引用している部分があることから今回、所要の改正措置を講ずるものでございます。</p> <p>2番の保育料の改定でございますが、保育料の国基準額、これは上限を定める額でございます、の改定内容に基づき改正するものです。</p> <p>ただし、幼稚園の保育料については新制度に移行していない幼稚園、しもだ幼稚園が町内にはございます。その幼稚園の利用者と差が生じないように設定しております。</p>
--------------	-------------------------	--

		<p>2 ページ目の資料 1-1 をごらんください。</p> <p>27 年度と比較すると、保育料年額では 6,000 円の増額となりますが、幼稚園就園奨励費案が 2 万 4,000 円増額となるため、実質、利用者の負担額は年額で 1 万 8,000 円、月額で 1,500 円減額となり、軽減が拡大されることとなります。</p> <p>3 の保育料の改正案についての考え方を説明いたします。</p> <p>(1) として、市町村民税非課税世帯の第 2 子の保育料については無償として設定いたしております。</p> <p>2 ページ目の資料 1-2 をごらんください。</p> <p>右側のほうで国の基準で、※の 1 番ですね、国の基準で第 2 子の保育料を無償化しております。1,500 円だったものがゼロ円となっております。町では 27 年度から既にここは無償化しておりますので、ここについては変更はございません。</p> <p>3 ページ目の資料 2 をごらんください。</p> <p>※の 1 番でございますが、国の基準は第 2 子の保育料を無償化ということで、3 号認定標準 4,500 円と 2 号認定標準 3,000 円をいずれも無償としております。町も同様の考え方で算出しまして、3 号標準の 4,500 円、2 号認定標準の 3,000 円いずれも無償化しております。</p> <p>(2) のひとり親・障がい児(者)在宅世帯の年収 360 万円未満相当世帯の第 1 子の保育料についてでございますが、市町村民税非課税世帯並に軽減するように設定いたしました。</p> <p>2 ページ目の資料 1-2 をごらんください。</p> <p>※の 2 番でございますが、国基準額が 7,550 円から 3,000 円に非課税世帯並に軽減が拡大されております。町も同様の考え方になりますが、軽減されております。</p> <p>3 ページ目の資料 2 をごらんください。</p> <p>同じく※の 2 番です。</p> <p>国の基準額、これが 3 号認定標準、2 号認定標準それぞれ軽減されております。同じような考え方で町のほうの非課税世帯並に軽減されておりますが、町のほうの保育料の金額につきましては、現在既に国の基準を下回っておりますので、この部分については据え置きといたします。</p> <p>※の 3 番、それから※の 4 番につきましては、それぞれ非課</p>
--	--	--

<p>答弁</p>	<p>町民課長 (澤田常男君)</p>	<p>29年度については、今、今年度の、28年の所得から算出しているところで、まだ固まってはおりませんが、28年度と同額ぐらいには抑えられるかなというふうに考えております。3月末には各利用者のほうに通知書のほうを発送できるというふうに予定しております。</p> <p>以上でございます。</p>
<p>質疑</p>	<p>馬場議長</p> <p>14番 (松林義光君)</p>	<p>14番。</p> <p>保育料の第3子以降は、とにかく所得に関係なく、おいらせ町は無料と。三沢市とかほかは保育料取ってますけれども、おいらせ町はすごいなと高い評価を受けております。加えて上限も3万円と2万7,000円ですか、それも高い評価を受けておりますので、定住促進のことを考えても、それらの政策は引き続いて行ってもらいたいと、そのことをお願いしておきます。</p>
<p>散会宣告</p>	<p>馬場議長 (議員席) 馬場議長</p>	<p>ほかに質疑ありませんか。</p> <p style="text-align: right;">**なしの声**</p> <p>なしと認め、本件に対する質疑を終わります。 これで行政報告を終わります。</p> <p>これで本日の日程はすべて終了いたしました。 これで本日の会議を閉じます。 あす3日から5日までの3日間は議員各位に配付しています 会期及び審議予定表のとおり、議案熟考のため休会といたします。 来る6日は、午前10時から本会議を開き、一般質問を行います。 本日は、これで散会いたします。</p> <p style="text-align: right;">(散会 午前11時34分)</p>

	<p>事務局長 (中野重男君)</p>	<p>修礼を行いますので、ご起立願います。 礼。 事務局からお知らせいたします。 この後、阿光坊古墳館の展示施設が完成した件で視察を行うこととご案内しておりました。1階正面玄関前からバスが45分に出発する予定でございますので、それまでの時間までに正面玄関に集合してください。バスの出発時間は11時45分を予定しております。</p>
--	-------------------------	---